



上岡宏教授の経歴と業績

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2017-07-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://hokkyodai.repo.nii.ac.jp/records/10738

上岡宏教授の経歴と業績

略 歴

昭和 13 年（1938 年）東京市に生まれる

学 歴

昭和 41 年（1966 年）東京都立大学人文学部人文科学科
（哲学専攻）卒業

昭和 43 年（1968 年）東京都立大学大学院人文科学研究科
修士課程（哲学専攻）修了

昭和 46 年（1971 年）東京都立大学大学院人文科学研究科
博士課程（哲学専攻）単位取得退学

職 歴

昭和 46 年（1971 年）東京都立大学人文学部助手

昭和 48 年（1973 年）北海道教育大学教育学部助手（旭川分校）

昭和 50 年（1975 年）北海道教育大学教育学部講師（旭川分校）

昭和 52 年（1977 年）北海道教育大学教育学部助教授（旭川分校）

昭和 60 年（1985 年）北海道教育大学教育学部教授（旭川分校）

平成 16 年（2004 年）定年により退職。北海道教育大学名誉教授

著書・論文（抜粋）

著書

- 『プラトン全集第10巻』（翻訳・注解・解題、共著）、1975年、角川書店
『存在論の方法—その基礎づけと展望の試み—』、1984年、北樹出版
『歴史の中の人間—存在論的分析の試み・前書—』、1994年、近代文芸社
『教養としての存在論史』、1994年、北樹出版
『プラトン批判期対話篇の研究』、2002年、北樹出版

論文

- 「プラトンの分割法・「ポリチコス」の場合」、1970年、『哲学誌』（東京都立大学）12号
「「ピレボス」の弁証法・分有論の問題」、1971年、『哲学誌』（東京都立大学）13号
「プラトンの有論・「ソピステス」の場合」、1971年、『哲学誌』（東京都立大学）14号
「メガラ派とプラトン」、1973年、『人文学報』（東京都立大学）94号
「存在の問いとその可能性—有論素描（その1）—」、1977年、『北海道教育大学紀要』第28巻1号
「存在の問いとその可能性—有論素描（その1）—（続）」、1978年、『北海道教育大学紀要』第28巻2号
「現実存在の時間的構造について—有論素描（その2）—」、1979年、『北海道教育大学紀要』第30巻1号
「現実存在の時間的構造について—有論素描（その2）—（続）」、1980年、『北海道教育大学紀要』第30巻2号
「三人称的世界の意味構造について—有論素描（その3）—」、1981年、『北海道教育大学紀要』第32巻1号
「存在論と歴史の問題—存在の探究（その1）—」、1990年、『北海道教育大学紀要』第41巻1号
「歴史的世界と人倫の問題—存在の探究（その2）—」、1991年、『北海道教育大学紀要』第41巻2号
「存在論的史観の問題—存在の探究（その3）—」、1991年、『北海道教育大学紀要』第42巻1号
「宗教的世界国家の問題—存在の探究（その4）—」、1992年、『北海道教育大学紀要』第42巻2号
「多元的世界の宗教について—存在の探究（その5）—」、1992年、『北海道教育大学紀要』第43巻1号